第185号
昭和40年9月1日

昭和29年10月15日
第三種郵便物認可

毎月1日発行
定価1部3円

9月の広報ごよみ

◆働く婦人の福祉運動（14日〜24日）
◆老人福祉週間（15日〜21日）
◆結核予防週間（24日〜30日）
◆身体障害者雇用促進運動（9月中）
◆工業標準化振興運動（9月〜10月）

広報おだわら

発行所
小田原市役所
小田原市幸1〜900
編集兼発行人
垣内弘一
株式会社 文進堂印刷
全世帯配布

小田原市の人口 8月1日現在

人口	142,962人
男	71,059人
女	71,903人
世帯	33,403世帯
前月との比較 人口	462人増
男	266人増
女	196人増
世帯	105世帯増

もれなく正しく申告を
十月一日に国勢調査

いよいよ、この十月一日を期して、全国いっせいに国勢調査が行なわれます。第一回の国勢調査は大正九年に実施されましたが、その後五年ごとに行なわれ、本年でちょうど十回目になります。

この調査は、国はもちろんのこと都道府県、市町村ごとの人口及び、その男女別、年齢別、職業などの構成状態を明らかにして、政治や行政などの基礎資料を得るために行なわれる国の基本的な統計調査です。また、この調査によって調べたことがらは、統計をつくる以外の目的、たとえば徴税、犯罪捜査などのために用いることはかたく禁じられており、申告者の秘密は守られますから、もれなく正しい申告をしてくださるようお願いいたします。

調査の対象

日本の全域に常住の者で、わが国に駐留する外国軍隊の軍人、軍属やその家族と外交団は除きます。ここに常住者とは、ふだん住んでいる人のことで、すでに三カ月以上住んでいる人か、まだ三カ月にならないが、十月一日前後を通じて三カ月以上住むことになっている人のことで、これらの方はその住んでいる場所で申告をしていただきます。

なお、例外として旅行、その他により自宅にいない方の申告場所は次のとおりです。

◇旅行や出かせぎで、一時不在の人は、不在期間が三カ月以上にならない人は、自宅で申告します。

◇病院などの入院患者のうち、すでに三カ月以上入院している人は入院先で申告し、入院して三カ月にならない人は、自宅で申告します。

◇寄宿舎、下宿などから通学している学生、生徒は自宅でなく、寄宿舎、下宿で申告します。

◇自衛隊の営舎内または艦船内の居住者は、自宅でなく、営舎または艦船で申告します。

◇刑務所、拘置所に収容されている人のうち、刑のきまつている人と少年院、婦人補導院に収容されている人は、全部収容先で申告します。

◇三カ月以上にわたつて、住んでいるところ、または、住もうと思つているところがない人は、現在いる場所で申告します。

調査の方法

調査員が、九月二十四日から三十日までの間に、各世帯を訪問して国勢調査表とその記入例を配布して、記入上の注意について、ご説明することになっています。

また、これらの調査票は、十月一日から三日までの間に、調査員が、各世帯を回つて取りまとめにいきますから、それまでに、黒か青のインクで記入しておいてください。

市長アメリカから帰国
ワシントン市長らと会見

米国ミシガン州、マキノ島で行なわれたMRA世界大会に出席のため、さる七月二十五日から渡米しておりました鈴木市長は、八月二十六日午後十時三十分羽田着の特別機で無事帰国いたしました。

一カ月の滞在期間中は「北極星」というミュージカルを上演しながら各地を回つたMRA日本青年代表団と行を共にし、特にチャールストン、ワシントン市では、それぞれ市長その他と会見するなど大いに日米友好の実をあげました。

としよりの福祉週間（9月15日〜21日）
市内各地で多彩な行事
七十七歳以上の方には記念品

老人の福祉増進をはかるとともに敬老思想をたかめるため、例年行なわれている「としよりの福祉週間」が、今年も九月十五日から二十一日まで全国的に実施されます。

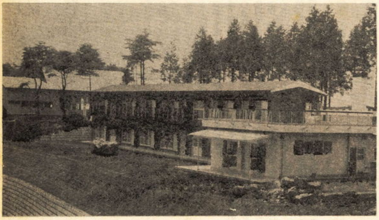
小田原でも市をはじめ、自治会民生委員協議会、市立各小・中学校、婦人団体、青年団および子供会などの協力で、この週間にふさわしいいろいろな敬老行事の計画が、各地区ごとに進められております。

市では、九月十五日現在で市内に一カ年以上居住している七十七歳以上の方には、市長のお祝いのことばに添えて記念品を贈るほか七十七歳から七十九歳までの方に一千円、八十歳から八十七歳までの方に二千円、八十八歳以上の方に三千円の祝金を贈呈して、長寿をお祝いすることになっております。

また、市では地区で行なわれる敬老行事の推進をはかるため、七十歳以上のおとしより一人につき二百円の委託料を地区に交付します。

一方、県では七十七歳の方に記念品、八十歳以上の方に祝金を贈呈するほか、特に八十八歳になられた方には、お祝いとして座ぶとんを贈ります。

なお、八月末日現在、市内には七十歳以上の方は四千五百十人でそのうち七十七歳以上の方は一千六百三十七人となつております。



（写真は手前が完成した宿舎、後方はセントラルロツジ）

「青少年の家」宿舎が完成
八月十九日に落成式

小田原市久野の塔ノ峰に第二期工事として建設中の「青少年の家」宿舎が、八月十九日に完成し、その完成式が同日午前十一時から関係者、来賓など多数が出席して行なわれました。

完成した宿舎は、セントラルロツジの隣りで木造二階建て、一部鉄筋、面積五百二一・九平方㍍の明るい山荘式建物で、内部は事務室管理人室、食堂、調理場、浴室のほか八畳間九室、十一畳間一室で一度に五十人宿泊できるものです。

この青少年の家は、市が青少年のための健全ないこいと修練の場として、四年前から工費四千百六十五万円をかけて建設していたもので、本年をもつて建設工事は終了しました。

これで昨年建設されましたバンガロー、セントラルロツジ、キャンプ場などとともに青少年の修練と野外活動の場としてさらに利用されます。

なお、このたび完成いたしました宿舎は、年間を通じて利用できるものです。

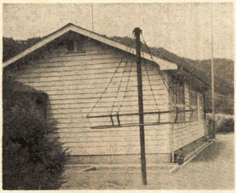
使用申し込みは教育委員会社会教育課で受け付けております。

青少年相談

青少年問題でお困りの方は、お気軽にご相談ください。

平日 午前8時30分〜午後5時
土曜日 午前8時30分〜正午
日曜日、祝日は休みです。

市立青少年補導所
電話(22)二一三六番(22)二一二一番〜内線



19年の歴史をとじた明神分校

明神分校（市立久野小学校）を廃止
児童は本校に通学

昭和二十一年、和留沢開拓部落の発足と同時に開校された明神分校は部落児童の教育の場として十九年間を歩んできました。

この間、五十名の卒業生を送り出しましたが、近年生徒数が減少し十分な教育を行なうことが困難となるなど種々の事情により、八月三十一日をもつて廃止されることになり、この廃校式が八月二十八日に行なわれました。

今後、児童は本校の久野小学校へ通学することになり、その際通学用自動車が利用されることになりました。

なお、今まで同分校の振興のためにお寄せいただいた各方面の方々のご好意に対して市の関係者一同深く感謝しております。

小泉重雄氏（市監査委員）死去

小田原市監査委員、小泉重雄氏は、かねてから病気加療中でありましたが、さる八月十二日死去されました。

同氏は、昭和九年十二月、水道部に奉職、以来昨年九月に退職されるまで、水道課長、秘書課長、統計広報課長、国民健康保険課長、人事課長、経済部長、市立病院事務長、収入役の要職を歴任され、退職後、市政功労者として表彰を受け、昭和三十九年十月から、監査委員となられたものです。

9月15日現在

基本選挙人名簿登載資格者の戸別調査を行ないます。

この名簿は来年の12月19日までに行なわれる選挙に使われます。

◇**年齢要件** 日本国民で昭和40年12月20日現在で満20歳以上の男女
（昭和20年12月21日までに生まれた方）

◇**居住要件** 小田原市内に引き続き3カ月以上住んでいる方
（昭和40年6月15日以前から小田原市内に住んでいる方）

※9月10日ごろから市の職員が戸別にお伺いしますので、ぜひご協力ねがいます。

小田原市選挙管理委員会

災害の発見は すぐ地区通報責任者に

本市では、市民のみなさんを台風などの災害から守るため、いろいろと防災計画を立てております。

この計画の一環として、災害が発生した場合、あるいは災害発生のおそれがある場合、その状況を通報していただき、早急に処置ができるようにするため、各地区に災害発生通報責任者を置いております。本年度の各地区災害発生通報責任者は、次のとおりですが、みなさんの近くで、そのような異状現象を発見されたときは、すぐにこれらの通報責任者にお知らせください。

災害発生通報責任者

◇緑地区
第1区＝山室欽一　第2区＝松賀豊太郎　第3区＝平井清八郎　浦町＝金野正房　第4区＝府川耕平　第5区＝下田良平　第6区＝小野口民蔵　銀座＝井上嘉人

◇新玉地区
台宿＝武田良作　大工町＝中戸川利喜三　第9区＝村上金蔵　第10区＝木内晴光　第11区＝内田要造　第12区＝井上清由　第13区＝菴原友吉　新宿＝沢口為吉

◇万年地区
第15区＝荒木富男　第16区＝杉山米吉　第17区＝萩原武雄　第18区＝小沢信芳　第19区＝諸星彦次　第20～1区＝薮田秀雄　第20～2区＝河合正雄

◇幸地区
第21区＝戸塚高治　第22区＝平沢金作　第23区＝鈴木広吉　第24区＝市川三郎　第25区＝松本末吉　第26区＝川口敬次郎　第27区＝太田海三

◇十字地区
第28区＝高橋孫太郎　第29区＝岩下良平　第30区＝八幡衡平　第31区＝本多栄太郎　第32区＝小西哲夫

◇足柄地区
第33区＝小林金治郎　第34区＝額田正平　第35区＝稲葉武夫　第36区＝神羽静雄　第37区＝細谷政五郎

◇芦子地区
第38区＝亀井二郎　第39区＝府川秀雄　谷津＝山崎辰之助　第41区＝原成吉

◇二川地区
第42区＝大川孝太郎　第43区＝小砂理助　第44区＝上原理平

◇富水地区
第45～1区＝木村房雄　蛍田駅前＝木村実　霞ノ瀬＝伊与田豊　狩川＝杉山鶴吉　蛍生会＝磯崎昇一郎　蓮正寺住宅＝富山喜秀　よし田＝浅井安治　蛍田中央＝高杉良介　第46区＝加藤勇　第47区＝山崎静雄　第48区＝池田享平　第49～1区＝渡辺一郎　第49～2区＝鍵和田正之助　第49～3区＝山口義雄　府川＝加藤幸次　久所＝椎野保平　第51区＝押田六郎　第52区＝太田安茂　第53～1区＝山室熹三　第53～2区＝古沢静雄

◇久野地区
宮本＝太田久夫　坂下＝白石福太郎　京福台＝小宮義治　北久保＝浜野利夫　下宿＝永井善八　中宿第1＝高瀬正治　中宿第2＝大島守光　星山＝高橋文雄　中久野＝出野幾雄　三国＝増山求　留場＝北村英雄　坊所＝湯川実　欠ノ上＝山口一男　舟原＝高橋藤蔵　諏訪原＝杉本弘　和留沢＝鈎巻留治

◇大窪地区
第58区＝笠井英一　第59区＝府川米吉　第60区＝高橋光男　第61区＝市川六郎　第62区＝原宗谿　第63区＝若林好蔵　第64区＝安藤弘

◇早川地区
木地挽＝加藤充益　早稲田＝太田丑五郎　向口＝山口信義　西組＝平岡幸雄　中組＝大津静雄　東組＝加藤喜之助

◇山王網一色地区
第67区＝原達夫　第68区＝神保儀三郎　第69区＝小沢明　第70区＝小髙行夫　第71区＝井上政重

◇下府中地区
下堀＝志村三郎　中里＝原時次郎　矢作＝佐藤勲　鴨宮1区第1＝加藤京蔵　鴨宮1区第2＝堀口信義　鴨宮2区＝松本春之助　鴨宮3区＝浜名輝行　鴨宮4区＝釼持正治　鴨宮5区＝内田伊三郎

◇桜井地区
曽比＝配島利雄　東栢山＝黒柳義雄　柳町＝上藤秋央　西栢山＝笹田啓造　栢山清流荘＝金子亮一　やまゆり＝内田清

◇豊川地区
飯泉＝片倉俊男　成田＝秋山靖　桑原＝奥津良平　園池製作所成田＝新妻弘　富士見＝井上堅治

◇上府中地区
高田＝内田西治　千代＝川口朝光　永塚＝神野国光　東大友＝西山伊助　西大友＝渋谷昭　延清＝市川繁吉

◇下曽我地区
曽我原＝曽我祐造　曽我谷津＝市川博　曽我別所＝川久保正男　曽我岸＝関野高三郎　曽我神戸＝穂坂茂久

◇国府津地区
第1区＝石綿由平　第2区＝望月吾一　第3区＝加藤茂左エ門　第4区＝大川六三郎　第5区＝落合信一　第6区＝椎野綱七　第7区＝剣持鹿蔵　第8区＝内田彦三郎　第9区＝野地賢吉　第10区＝野地恒助　第11区＝足立茂雄　第12区＝石井福太郎　第13区＝小島信太郎　第14区＝野地佐次郎　第15区＝知久八郎

◇酒匂地区
1丁目＝高原忠吉　2丁目＝佃恭治　3丁目＝松井巳之作　4丁目＝角野唯雄　5丁目＝林清　6丁目＝藤原一江　7丁目＝二見義雄　8丁目＝山口武男　9丁目＝讃原英雄　10丁目＝酒井重明　11丁目＝神山重富　12丁目＝飯山武雄　小八幡1丁目＝日比野英吉　2丁目＝石井兼吉　3丁目＝平野八郎　4丁目＝平野保雄　5丁目＝椎野正　6丁目＝本多義彦　7丁目＝杉山徳一　8丁目＝鈴木唯信

◇片浦地区
石橋＝中島慶太郎　米神＝松本梧郎　西米神＝長野啓太郎　根府川＝内田一正　江之浦＝宮崎平三郎

◇曽我地区
上曽我＝鳥居金造　下大井＝和田慎平　中河原＝加藤平蔵　鬼柳＝水野泰明　曽我大沢＝関野公

「新潟地震」記録 フイルムの貸し出し

市の消防本部では、昨年六月、新潟地方に大きな被害を与えました新潟地震の記録フイルムを一般に貸し出しておりますので、異常災害にそなえてご参考までにご利用ください。

◇申し込み場所
消防本部消防課（予防係）
電話㉒四九一九番

◇申し込み方法
消防本部にあります申し込み用紙で申し込んでください。

◇貸し出し料　無料

なお、映画会などで、ご希望があれば、職員を派遣して、消防関係の話などもいたします。

にぎわった花火大会

さる八月十五日午後七時から御幸の浜で、恒例の小田原花火大会が開催され、見物客で大変にぎわいました。

この花火大会は五十年もの歴史をもち、年々盛大になってきていますが、今年も市内の会社、工場商店などの協力を得て、文字仕掛四台（株式会社志沢、箱根ターンパイク、東華軒、箱根登山鉄道提供）、水中くじゃく（小田原信用金庫提供）、スターマイン（明治製菓、日本新薬提供）、水中金魚（大同毛織提供）などの仕掛花火をはじめ、舟から海中に投げる水中花火など、豪華に夏の夜空をいろどり見物客をたのしませました。

たばこは市内の小売店で買いましょう

たばこ代金の一部は市たばこ消費税として、たばこ10本につき4円20銭9厘が市の収入になりますからぜひご協力ください

損害額七千五百万円 1月～6月の火災統計 昨年同期の50倍

市の消防本部では、ことしの一月から六月までの火災状況を別表のとおりまとめました。これによりますと、火災件数は昨年同期にくらべて三十二件も増加しており、また火災規模の大きいものなどがあつたため、損害額は五十倍、焼失面積は三十倍とそれぞれふえております。

発生原因を見ますと、たばこ、たき火の不始末による火災が、あいかわらず多くなっています。

たばこは歩きながら吸うことをやめ、吸いがらは灰皿に確実に入れるように注意すれば、防げるものです。特にこれからは、おとなの不注意、不始末による火災をなくすようつとめましょう。

舟原公民館が完成 本市では60番目

久野舟原地区の人たちが、待ち望んでいた地区公民館が、さる八月二日、同地区下河原橋の近くにできあがりました。

この公民館の建設計画は、数年前から立てられていましたが、この春、地区の人の全員一致で建設が決まり、五月十五日整地に着工、建設費三百四十万円で八月二日に完成したものです。

この舟原公民館は、木造モルタル塗り平屋建てで、床面積約百九平方メートル（三十三坪）、内部は和室、台所等からなり、玄関には、舟原全地区に通ずる屋外放送設備がそなえつけられています。

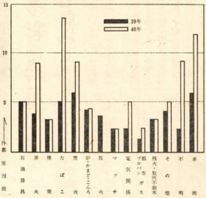
これで市内の公民館は、六十館となりましたが、久野地区では二番目のもので、今後、各種団体の活動、その他いろいろな面で利用され、同地区の発展に大いに役立つものと期待されます。

（写真は、完成した舟原公民館）

昭和40年1月から6月までと昭和39年1月から6月までの比較

区分／年別	火災件数	焼失面積	損害額
1月～6月 39年	50件	林野（57a） 148㎡	1,518,900円
1月～6月 40年	82件	林野（1,797a） 4,220㎡	74,830,000円
増減比較	+32件	林野＋（1,740a） +4,072㎡	+73,311,100円

昭和40年1月から6月までの火災発生原因別と昭和39年同期の比較



早期発見でガン退治 それには一度健康相談を

「ガン」は、早期に発見して治療をすれば、決してなおらない病気ではありません。

神奈川県及び小田原市内の病院診療所のうち、県が指定した医療機関（窓口に指定の掲示が出ています）で「ガン」の健康相談を行なっております。

特に四十歳以上の方は、自覚症状のあるなしにかかわらず、できるだけ機会を見て健康相談を受けてください。あなたの健康は、あなた自身で注意する以外に方法はありません。

手続きは簡単です。

当市内の神奈川県ガン相談指定医療機関にあります相談券に所定事項を記入すれば精密検査まで無料で受けられます。

心配ごと相談
9月
7.14.21.28日
午前9時～午後3時
市立青少年補導所

建設だより

◇万年防波堤改良工事＝万年地先＝
（工事概要）
裏法被覆工事
延長四十二・八メートル　法長（のりなが）二・五～三メートル
天端工事
延長四十二・六メートル　幅一・三六メートル
工事費八十八万円（うち県補助金三分の一）
八月二日着工　八月三十一日完成の予定

◇下水道終末処理施設建設工事＝今井地先＝
（工事概要）
①沈砂池
延長三十五・五メートル　幅七・二メートル
②汚水ポンプ場及び水質試験室仕上工事
工事費七百七十万円（うち国庫補助金三分の一）
八月五日着工　十一月四日完成の予定

◇下水道第三工区工事＝幸地内＝
（工事概要）
①二百五十ミリ管敷設工事（厚型陶管、内径二百五十ミリ、長さ六百六十ミリ）
延長九百五十二・三メートル
②人孔設置工（一号人孔、内径九十センチ）　三十四個所
③汚水ます取付工事（鉄筋コンクリート、管内径四百五十ミリ、長さ五十センチ）　九十五個所
④取付管敷設工事（厚型陶管、内径百五十ミリ、長さ六百六十ミリ）
延長二百六十二・四メートル
工事費七百九十七万円（うち国庫補助金三分の一）
八月五日着工、昭和四十一年一月三十一日完成の予定

◇下水道第五工区工事＝板橋十字地内＝
（工事概要）
①二百五十ミリ管敷設工事（厚型陶管、内径二百五十ミリ、長さ六百六十ミリ）
延長七百八十四・七メートル
②人孔設置工事（一号人孔、内径九十センチ）　二十七個所
③汚水ます取付工事（鉄筋コンクリート、管内径四百五十ミリ、長さ五十センチ）　百九個所
④取付管敷設工事（厚型陶管、内径百五十ミリ、長さ六百六十ミリ）
工事費五百八十六万円（うち国庫補助金三分の一）
八月五日着工　十二月三十一日完成の予定

夜空を色どる打ちあげ花火

行政相談　人権擁護相談　苦情相談　心配ごと相談

行政相談
人権擁護相談
心配ごと相談

9月14日　午前9時～午後3時
毎月第2火曜日に3つの相談所が開設されます。
場所　市立青少年補導所

いつも笑顔であいさつを

新生活運動 推進目標などきまる

小田原市新生活運動協議会では昭和四十、四十一年度の推進目標を次のとおり決めて、明るい豊かな生活をいとなむ運動を更におし進めて行くことになりました。

一、みんなで環境の美化につとめましょう。

二、いつも笑顔で、あいさつをかわしましょう。

三、祝祭日には、国旗を掲げましょう。

また、これらの目標は各団体、機関から選ばれた二百九十五名の委員を中心として推進されるわけですが、そのうち役員、常任委員は次のとおりです。

昭和40、41年度小田原市新生活運動協議会役員、常任委員

◇委員長 根本秀太郎（社会教育振興協議会）◇副委員長 千葉菊子（婦人団体連絡協議会会長）落合信一（連合自治会副会長）里見良一（公民館連絡協議会副会長）◇会計 小泉英彦（子ども会協議会会計）内田清造（民生委員総務副会長）◇常任委員 原達夫（教育委員）須藤晋寿（社会教育委員議長）安間喜代（同副議長）金野正房（連合自治会会長）野口実明（民生委員総務会長）松蔭定英（社会教育振興協議会）大野藤江（PTA連絡協議会会長）広沢富正（同副会長）川口喜美代（婦人団体連絡協議会副会長）山橋ナヲ子（同）杉原千代（同）山本忠一郎（子ども会協議会会長）小蔦行夫（同副会長）石塚治男（同）中村滋（青年団連盟理事長）二見千代子（同副理事長）山口武利（公民館連絡協議会会長）木村作次郎（同副会長）竹田英俊（ボーイスカウト地区協議会長）、尾崎尚子（ガールスカウト神奈川第13団年長隊長）井上孝之助（商工会議所商業部会長）望月正道（学識経験者）安藤きさ（同）石綿利助（同）垣内弘一（市民課長）本多昭吉（市民課市民広報係長）中野敬次郎（社会教育課長）石井富之助（図書館長）安井常助（社会教育係長）山口貢（公民館主事）

結核健康診断のお知らせ

先月に引き続きまして、今回は主として九月に行なわれる地域についてお知らせいたします。

◇9月8日 上曽我、中河原＝小田原市農協曽我支店上曽我出張所 ◇9月9日 曽我大沢＝曽我大沢公民館 ◇9月13日 永塚＝永塚公民館 ◇9月14日 高田、別堀＝川口氏宅前 ◇9月15日 千代＝小田原市農協上府中支店 ◇9月16日 鴨宮2〜4区＝鴨宮青年会場 ◇9月20日 中里、酒匂11丁目＝下府中小学校 ◇9月21日 中里、下堀＝中里青年会場 ◇9月22日 鴨宮5区＝下府中分館 ◇9月27日 曽我谷津、岸＝岸公民館 ◇9月28日 曽我別所＝下曽我小学校 ◇9月29日 曽我原、神戸＝下曽我分館 ◇10月4日 田島＝田島公民館 ◇10月5日 国府津1〜5区＝真楽寺 ◇10月6日 国府津8〜10区＝同公民館 ◇10月7日 国府津6、7、11、15区＝国府津小学校（以上の地区は午後1時30分〜3時30分）

◇9月13日 大友＝西大友公民館 ◇9月14日 延清、千代＝上府中支所 ◇9月20日 鴨宮1区＝杉浦氏宅前 ◇9月21日 矢作＝矢作観音堂前（以上の地区は午前9時30分〜11時）

※他の地区については次号で。

暴力、緊急事件は一一〇番へ
小田原警察署

二川チームが再度優勝

第17回市民体育祭

市並びに教育委員会、体育連盟及び地区体育振興会連絡協議会の共催による第十七回市民体育祭は八月一日・八日の日曜日を中心に市営城山陸上競技場をはじめ市内の各会場で開催され、各種目にわたり参加チーム二十二地区で熱戦が展開された結果、総合成績では二川チームが、昨年優勝の酒匂チームを二・六六点差で押え二度目の優勝を遂げました。

なお、大字別の得点順位及び各種目の優勝チームは次のとおりです。

総合得点順位

①二川一二〇・六六 ②酒匂一一八 ③足柄九二 ④富水八七 ⑤新玉八五・六六 ⑥久野八二 ⑦芦子八〇 ⑧下曽我 ⑨幸 ⑩桜井 ⑪緑 ⑫下府中 ⑬上府中 ⑭山王網一色 ⑮万年 ⑯早川 ⑰国府津 ⑱曽我 ⑲片浦 ⑳十字 ㉑豊川 ㉒大窪

種目別優勝地区

◇軟式野球＝下府中 ◇蹴球＝芦子 ◇ソフトボール＝十字 ◇排球＝酒匂 ◇相撲＝早川 ◇軟式庭球＝二川 ◇卓球＝下府中 ◇籠球＝二川 ◇バトミントン＝芦子 ◇柔道＝足柄 ◇剣道＝新玉 ◇弓道＝足柄 ◇射撃＝富水 ◇自転車＝二川 ◇陸上競技＝富水 ◇水泳＝二川

下府中が初優勝

―子ども会ソフトボール大会―

市子ども会協議会主催による小田原市子ども会ソフトボール大会は、本年で第十回を迎え、十八チームが参加して七月二十九日、三十日の二日間にわたり、市営城内野球場で開かれました。

両日とも炎天下で熱戦をくりひろげた結果、下府中チームが初の優勝を遂げ、市長杯を獲得しました。なお、主な成績は次のとおりです。

優勝 下府中学区子ども会
準優勝 新玉学区子ども会
三位 酒匂学区子ども会
三位 山王学区子ども会

城山中が優勝

―市内中学校陸上競技大会―

第十八回市内中学校陸上競技大会は、市内九校の代表選手約三百名が参加して、さる八月二十六日午前八時三十分から市営城山陸上競技場で開かれました。

競技は、岩瀬教育長のあいさつ市長職務代理者曽我助役の祝辞につづき九時三十分から、はげしい熱戦がくりひろげられた結果、男子八百㍍リレーで新記録が生まれ男子の得点では城山中と千代中の二校が接戦の末、同点となりましたが、男女総合では城山中学校が優勝を遂げました。

なお、得点順位（三位まで）及び大会新記録は次のとおりです。

得点順位

◇男子 ①城山中五十一 千代中五十一 ③城南中二十六
◇女子 ①城山中四十三 ②白山中三十三・五 ③国府津中二十七
◇総合 ①城山中九十四 ②千代中七十五・五 ③国府津中四十九
◇大会新記録 男子八百㍍リレー 城山中1分49秒

大野中が総合優勝

―第12回近郷中学校水泳大会―

シーズンの最後をかざる第12回小田原近郷中学校水泳競技大会は、さる八月二十日午前八時三十分から市営御幸の浜海水プールで行なわれました。

大会には市内中学校をはじめ、昨年優勝した平塚市立大野中学校など七校、約百名の選手が参加し男女合わせて二十一種目にわたって熱戦がくりひろげられました。

その結果、男子では五、女子では二、計七の大会新記録が生まれ総合で平塚市立大野中学校が、昨年に引きつづいて優勝しました。

なお、本年度の最優秀選手には五十㍍、百㍍バタフライに大会新記録をたてた岡本頼定選手（大野中）と女子五十㍍バタフライに同じく大会新記録を出した加藤八千代選手（大野中）の二人、敢闘選手には、白山中学の寺井保夫、河原章子の二選手が選ばれ、それぞれ表彰されました。

当日の成績は次のとおりです。

◇男子 ①大野中 ②大磯中 ③白山中
◇女子 ①大野中 ②白山中 ③大磯中
◇総合 ①大野中 ②白山中 ③大磯中 ④鴨宮中 ⑤城山中

5,000メートル決勝、トップをゆく円谷選手

大会新記録が続出

第39回関東陸上競技選手権大会

第三十九回関東陸上競技選手権大会は八月十四日、十五日の二日間にわたり市営城山陸上競技場で男子三百三十一人、女子六十人が参加して行なわれ、各種目に熱戦をくりひろげました。

まず第一日目の十四日には、男女十四種目が行なわれ、五千㍍には注目の円谷幸吉選手（埼玉自衛隊）が出場、決勝では14分33秒4の大会新記録で優勝したほか、各種目にわたって好記録が続出しました。引き続いて翌十五日は、午前十時から男女十八種目の予選、決勝競技が行なわれました。二日目は前日にくらべ記録的には、やや低調でありましたが、二日間で大会新三、大会タイ五の成績をおさめました。特に本県勢の活躍が目立ち、男子四百㍍障害で岩壁選手（希望ケ丘高校）が53秒7、円盤投げで渡辺選手（日体大）が43㍍96の大会新をそれぞれ出すなど、各種目にわたって入賞者を出しました。

写真は上から 開会式、400メートルリレー、バレー、テニス、剣道、柔道

「おかあさん教室」開催のお知らせ

妊娠中の健康状態が、生まれてくる赤ちゃんの健康に大きく影響することはよく知られています。

しかし日常生活のなかで、注意しなければならない大切なことが見過ごされているのではないでしょうか。これらの保健思想の向上をはかるため、本市では毎月二回母親教室を開催し指導につとめておりますが今回神奈川新聞社でもこれらの問題について次の要領で「おかあさん教室」を開催します。お気軽にご出席ください。

日時 九月八日（水）午後1時〜3時
会場 小田原市民会館（三階）
演題 「健康な赤ちゃんを生むために」
講師 横浜市立大学教授
映画 妊娠の生理と衛生、妊婦の栄養、産後の摂生

計量器定期検査のお知らせ

県計量検定所では、商取引き、証明等に使用されている計量器（はかります、ものさし等）の定期検査を次の日程で行ないますので、これらの計量器をお持ちの方は、必ず、検査を受けてください。なお、検査を受けないで使用されていますと罰せられることがありますのでご注意ください。

検査日程

◇10月5日 谷津、緑三四丁目＝県計量検定所小田原支所 ◇6日 緑一二丁目＝県計量検定所小田原支所 ◇7日 幸一〜四丁目＝市福祉事務所 ◇8日 十字一〜四丁目＝市福祉事務所（以上午前9時30分〜午後3時） ◇9日 今井、山王原、網一色＝山王小学校（午前9時30分〜午前11時30分） ◇11日 国府津支所管内＝国府津農協 ◇12日 酒匂支所管内＝酒匂分館（以上午前9時30分〜午後3時） ◇13日 片浦支所管内＝片浦農協根府川支店（午前9時30分〜午前11時30分） 早川支所管内＝早川支所（午後1時〜午後3時） ◇14日 上府中、下曽我、曽我＝下曽我分館 ◇15日 荻窪、池上、井細田、多古＝足柄支所（以上午前9時30分〜午後3時） ◇16日 町田、久野＝足柄支所（午前9時30分〜午前11時30分） ◇18日 富水地区＝市農協富水支店（午前9時30分〜午後3時） ◇19日 豊川支所管内＝豊川支所（午前9時30分〜午前11時30分） 桜井支所管内＝桜井小学校（午後1時〜午後3時） ◇20日 下府中支所管内＝市農協下府中支店 ◇21日 大窪支所管内＝益田完信氏宅前広場 ◇22日 中島、新玉一〜三丁目＝県計量検定所小田原支所 ◇23日 新玉四丁目、万年一〜四丁目＝県計量検定所小田原支所（以上午前9時30分〜午後3時）

児童生徒 創意工夫展・科学展

とき 9月18日（土）・19日（日）20日（月）
18・19日は午前9時〜午後5時
20日は午前9時〜正午
ところ 小田原市民会館（3階小ホール）
主催 小田原市、小田原市教育委員会、小田原市小・中学校教育研究会

私たちの学校生活

その17　千代小学校

古い歴史と静かな環境

小田原駅から下曽我行きのバスに乗っておよそ二十分、四面を広い田んぼに囲まれた校庭に高さ十メートルあまりの太い松の木十数本を前景として、両翼を張ったような南向きの本造二階建ての校舎があります。これが私たちの学校です。

学校の二階にあがると、私たちの学区がおよそ一目で見渡せます。遠く稲穂のかなた、南は下府中小学校へと穂波が続き、西は箱根連山を背景に成田、桑原、北は丹沢の峰々を背に西大友、東大友永塚部落が曽我山の方向へ延びています。わずかに近く西、延清部落が田の中に、また東には千代台地を中心に南東へ延びる高田部落の一部が見渡せます。学校は遠い出城をもった天守閣のように広い学区の中心にあります。

学校の前はバス通りでいろいろの車が通りますが、通り過ぎるとまたもとの田んぼの姿にかえる静かなところです。いつか学校に見えた人が「この辺の空気はおいしいですね」というのを聞いたことがあります。

学校が遠いので私たちは、登校班を作って通っています。帰りは学級ごとに帰りますが、朝などは青い田んぼの中をありのように列を作って歩いてくる友だちの白い姿が、遠くからながめられます。班長さんが週番の人から登校班のカードに印を押してもらい、私たちはここで解散して自分の教室へはいります。私たちの学校の一日が始まるわけです。

月曜日は全校のつどい。木曜日は一週間おきに行なわれる音楽、体育のつどい。土曜日には朝そうじのほか五、六年生の朝の部活動が行なわれます。放送部、飼育部図書部等いろいろの部が活動しますが、この時、購売部も開かれます。途中に学用品を売るお店が少ないので、大変よく利用されています。

また、おそうじの終わった後、遊び疲れた時などに、校庭にわきでる水で飼育している魚や飼育部の人たちのお世話している小鳥のえを食べる様子等を見るのは、楽しいことのひとつです。

おそうじは昼休みの後、三年生以上で行ないます。十二の教室のほかに職員室、図書室、理科室など特別の部屋が十もあり、その上大きな講堂もあるので、少ない人数でするおそうじは大変です。それに学校の周囲には大きな木がたくさんあるので、秋の落葉のころはひと苦労です。児童会や学級会でよくおそうじのことが問題になります。そして私たちはいつもできるだけよごさないようにと注意しあっています。けれど、校舎のまわりや運動場のすみにある学級園や教材園にきれいな花が咲いたり、秋にはヘチマやおいもがとれる楽しみもあります。今、校舎の裏側に二、三十本あるモロコシが、風が吹くたびに大きな葉をゆらゆらさせています。

千代は明治の初めにできた学校で、多い時は二千人を越す学校だったと聞いております。でも、今は四百五十名で、暑い日などは松の木陰で全校のつどいができるほどです。

開校記念日などには、よく校長先生から学校の歴史についてのお話を聞きますが、明治五年に九思館ができ、九年に千代小学校と名前がかわって、今の所に移ったのだそうです。明治六年に初代の校長先生を迎えてから今の磯崎校長先生で十五代目だそうです。講堂に昔の校長先生の写真がありますが、たいていひげをはやしていて先生というより何だか昔の人という感がしてきます。校庭の松も飼育部のわき水も、校歌に歌われてもう七十年にもなるといいます。

また、卒業生の中からは、偉い人もたくさんでていると聞かされています。私たちはこうしたお話を聞くたびにもっともっと勉強しようと感じています。

（千代小学校児童委員会）

※次回は桜井小学校です。

長い歴史をもつ千代小学校

楽しかった親子の学習

児童文化館の夏休み行事

ことしも児童文化館の夏休み行事が、七月十七日から「母と子の会」をはじめ、絵日記のかき方、かかせ方など多くの催しが行なわれました。ことしは各行事とも親子の参加姿が目立ち、学習や研究にそれぞれ楽しいひとときをすごしました。

親子で楽しい学習

「母と子の会～自由研究の仕方」
七月十七日　参加児童四十名、父母二十一名

夏期休暇を利用して、何をどのように研究したらよいか、いろいろ問題がありますが、こういう点について七人の先生からご指導いただきました。特に課題のとりあげ方、目のつけどころ、研究の進め方、処理の仕方についてそれぞれの先生がたから親切に説明を受けました。

「絵日記のかき方、かかせ方」
七月二十三日
参加児童三百名
父母二百八十名

ことし初めて、この行事を行ないましたが、予想外の好評をいただき、二回に分けて行なうほどの盛況でした。

「虫や草のしらべ方」
七月二十八日
参加児童八十八名
父母四十名

植物を勉強する人は会議室で、昆虫を勉強する人は子どもクラブ室に別かれて、それぞれ先生が説明してくださいました。庭や道ばたの虫や草や木を実際に観察して研究したり、自然に親しんだりしてたのしいひとときをすごしました。

「水の実験」
七月二十九日
参加児童百名
父母七十一名

学校では行なわれないような水の物理的性質の実験を講師の先生方とともに、じゅうぶん時間をかけてたのしく行ないました。

「たのしい紙工作」
八月四日
参加児童百五十五名
父母五十五名

キヤラメル、チヨコレートなどのあき箱や包装紙を使って、建物、乗物、動物、花などいろいろなものを思い思いにきれいに作りました。

「舟を作ろう」
八月六日
参加児童百[illegible]
父母六十九名

星崎記念館の中庭にことし作った大きな水そうを使って、いろいろな船の模型を作り浮かべました。帆やいろいろな動力で動く船もありました。

「プランクトンの観察とウニの受精実験」
八月十一日
参加児童百二十六名
父母二十五名

小学生は城址公園のお堀りのプランクトンを、中学生は海のプランクトンを顕微鏡で観察しました。また中学生は、8ミリ映画でウニの生態を観察したり、顕微鏡で受精と卵細胞が分裂したりする様子を観察しました。

第十五回子ども緑陰図書館

七月二十一日（水）から八月十四日（土）までの十七日間、市内の公民館、神社の境内、小学校などで開設され、一千五百三十八名ほどの人が、利用しました。ことしも子ども会の指導者や青年団の人たちの熱心なご協力をいただいて、人形劇のほか、緑陰紙工作教室を開催することができました。これは非常に好評で子どもたちやおとうさん、おかあさん方からも大変よろこばれました。

自動車文庫配本のお知らせ

9月14日（火）国際通り青年部、東亜農薬、大稲荷神社、入生田駅前
9月15日（水）健康学園、谷津市営アパート、柳屋ポマード、小田原紙器
9月16日（木）下府中婦人会
9月17日（金）千代小学校、中谷化工、小田原市農協狄窪支店、計量検定所
9月18日（土）小田原ガス、入谷津地区、国立箱根療養所
9月19日（日）網一色婦人会、久野商店街寮、蛍田蛍生会、久所市営住宅
9月21日（火）あしがり荘、小田原拘置所、大同毛織、板橋地区
9月22日（水）印刷局官舎、小田原少年院、報徳綿、鐘紡ハリス
9月25日（土）小西六写真、東洋水産、神尾食品、湯浅電池
9月26日（日）寺町公民館、中島33区公民館
9月28日（火）新宿公民館、酒匂分館、国府津分館、下曽我分館、曽我分館
9月29日（水）上府中分館、下府中分館、豊川分館、桜井分館、片浦分館

木曜コンサートのお知らせ

星崎記念館
午後0時20分～50分

9月2日　ヘンデル作曲「水上の音楽」
9月9日　日本名作歌曲集「この道」ほか数曲
9月16日　シューベルト作曲　交響曲第三番変ホ長調「英雄」

児童文化館ご案内

9月の定期映画会

9月4日（土）千五百㍍決勝、娘の秘密、大空の征服
9月5日（日）家庭文句帳、フーバーダム物語、土は生きている、台風にいどむ
9月11日（土）通貨、きれいに美しく、ドックNO3、噴水
9月12日（日）わたり鳥、砂丘静電気のいろいろ、漁村
9月18日（土）だれかがやるだろう、生命の起源、油田
9月19日（日）火の化学、やくそく、台風の眼、火山
9月26日（日）いねむり一家、娘の設計図、人類の敵、日本の気候

※児童文化館二階小劇場で、いずれも午後1時30分から開催いたします。

> **市民会館の休館日**
> 館内整理のため
> 毎月15日と月末
> ※ ただし当日が会館業務に支障がある場合はその前後が休館となります。

自慢料理をコンクールに

第七回さかなまつり

市と魚商組合連合会、魚市場の共催で第七回さかなまつりが、きたる十月十六日、十七日の二日間、小田原市民会館で開催されます。

この催しは、市民のみなさんに魚介類や水産加工品についての知識を深めていただくとともに、食生活の改善をはかるため、昭和三十四年から毎年開かれているものです。

行事の計画については、現在、関係者の間でいろいろ進められておりますが、そのひとつとしてさかなを主材料とした家庭料理コンクールが行なわれます。出品要領は次のとおりでありますが、係ではみなさんにご家庭の自慢料理を多数出品されるよう望んでおります。

出品要領

◇出品対象者　市内に在住の婦人

◇出品物　一人前百円以内の魚介類（主材料七十円以内、副材料三十円以内とし、種類に制限はありませんが、鮮魚店で間に合うもの）を主体とした家庭料理で、一点一人分の出品とします

◇出品点数　制限ありません

◇申し込み方法　所定の申し込み書により十月十一日（月）までに近くの鮮魚店へ

◇主材料（魚介類）は申し込みをうけた鮮魚店が無料でおわけします。

◇出品物の搬入と搬出　出品物は十月十五日（金）午後一時までに同一出品物二点（一点は試食用）に、それぞれ献立表をつけて会場にお持ちください。搬出は会期終了後行ないます。

◇表彰　審査の結果、優秀なものには賞状や賞品が出ます。

◇その他　申し込み書、献立表の用紙は、近くの鮮魚店に用意してあります。

なお、くわしいことは市役所商工課、または近くの鮮魚店にお問い合わせください。

> **火事と救急は**
> **119番へ**
> 場所と目標をはっきりと
> 小田原市消防本部

市職員の採用試験

申し込みは9月25日まで

市では、次により事務職員の採用試験を行ないますので、ご希望の方はお申し込みください。

事務職員

資格＝昭和四十一年三月に大学短大又は高校を卒業する見込みの者

試験＝第一次（学科試験）一般常識、国語、数学、作文、珠算

第二次　面接、身体検査

申し込み受付

①受付期間＝昭和四十年九月二十五日まで、休日を除き毎日午前九時から午後五時まで

ただし土曜日は午前中、郵送の場合二十五日の消印があるものは、受け付けます。

②受付場所＝小田原市幸一丁目九〇〇番地　小田原市役所職員課　電話㉒大代表一一一一番

③必要書類＝履歴書、戸籍抄本卒業見込み証明書、最終学校の成績証明書、各種資格証明書、写真（最近撮影のもの、たて6センチ、よこ4・5センチ程度）

第一次試験要領

①日時、場所＝後日、本人あて連絡いたします。

②携行品＝筆記具、そろばん、昼食

※不明な点は、市役所職員課にお問い合わせください。

道路や川はいつもきれいにしましょう

快適な生活は
きれいな環境から

小田原市美化運動実施本部

城址公園をきれいにしましょう

ただいま、市では、観光地美化事業を推進中です。愛犬を散歩に連れていく場合には、必ず、ふんのあと始末をしましょう。